

新たな年の始まり祝う 『新春の集い』開催

1月7日、新たな一年の門出を祝う新春の集い（町主催）がジョイ・じよぐらにて開催され、約70名が参加しました。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、2年ぶりの開催となった新春の集いでは、工藤町長の挨拶をはじめ、内田尊之道議会議員、楨信彦檜山振興局長より挨拶をいただきました。

また、京谷議長の乾杯の発声とともに始まった歓談の席では、参加した様々な世代が、笑顔で語り合う姿が多く見られ、一年の始まりは明るいものとなりました。



寒空の下、響く掛け声 空手スポーツ少年団寒稽古

1月9日、空手スポーツ少年団（納谷俊彦団長）の寒稽古が上ノ国八幡宮境内にて行われ、小学生から一般までの団員25名が参加しました。

この寒稽古は、心身を鍛え、今年一年の無病息災を祈願することを目的として毎年行われており、八幡宮への参拝を終え、参道に整列した団員たちは、力強い掛け声とともに稽古に励んでいました。

寒空の下、稽古は10分ほど行われ、一年の始まりにふさわしく、心身の引き締まる、良い稽古となったようです。



人権ポスターコンテスト 上中学生3名が入賞

12月14日、「小・中学生人権ポスターコンテスト」（函館地方事務局主催）で上中学生3名が入賞し、上ノ国中学校にて賞状の伝達式が行われました。

このコンテストは、次代を担う小・中学生が人権尊重の理念を理解し、一人ひとりが人権について考えることで、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として毎年実施されており、今回は管内20校、114点の作品の中からの入賞となりました。

入賞した生徒たちはポスター制作を通じて、人権について理解が深まったようです。



今年も豪華景品が当たる ドキドキわくわく抽選会

11月から12月にかけて、商工会に加盟する事業所で、購入千円ごとに、町内特産品などが当たる抽選券1枚を配布する「ドキドキ抽選会」が実施されました。

この事業は、町内事業者の活性化などを目的に上ノ国町商工会が3年前から実施している事業で、12月と1月の2回抽選を実施し、20万件以上の応募の中から、1、210本の当選が決定しました。

商工会では「町の賑わいの創出や経済活性化のための事業を今後も継続していきたい」と話していました。

